

更年期症状

Lignan

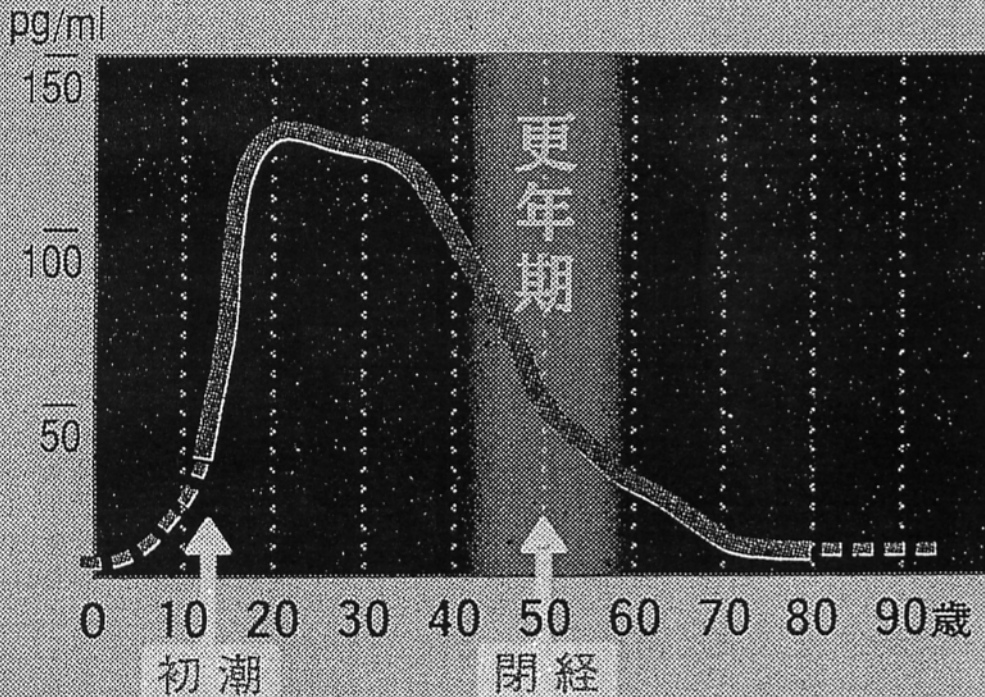
リグナンのホルモンバランス

(植物エストロゲン) (ガン・前立腺・更年期障害)

医学会・栄養学会の研究

ANTI-AGING MEDICINE

女性ホルモン(エストロゲン)の変化



pg (ピコグラム) は1兆分の1グラム

閉経症候群
(menopausal syndrome)

遅発症状

心因

急性症状

老年期障害 (senile symptoms)
閉経後障害 (postmenopausal symptoms)

更年期障害

性交痛

尿道炎

骨粗鬆症

変形性関節症

動脈硬症

肥満

更年期身症
空の巣症候群
思春期症候群

月経不順→閉止

顔面紅潮

不眠

発汗

「抗加齢医学」

日本抗加齢医学研究会機関誌

VOLUME 2 NUMBER 2

OCTOBER 2003

1. 第3回日本抗加齢医学会シンポジウム2「ホルモン補充療法の功罪」について 4

第3回日本抗加齢医学会の第1日目2003年6月7日(土)シンポジウムにおいて、「ホルモン補充療法の功罪」(座長=東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授・麻生武志、東京大学大学院医学系研究科教授・大内尉義)と題した講演が行われ、3人の演者がその現状についてデータを交えて報告した。

i. テストステロン補充療法の功罪

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器科学
教授 碓井 亜

加齢に伴う男性ホルモン欠乏を疾患としてとらえて対応する必要性が提起され、疾患名としてandropause、男性更年期障害などが用いられてきたが、Partial Androgen Deficiency of the Aging Male(PADAM)として用語の統一が図られつつある。ここでは、加齢による血中テストステロン値の低下と起こりうる症状、テストステロン補充療法の適応と期待される効果および副作用をのべ、今後の展望と課題を示したい。

ii. エストロゲン補充療法の功罪

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 産科婦人科学
教授 大濱 絃三

エストロゲンには子宮や乳腺を標的とする性器作用と、それ以外を標的にする性器外作用があり、後者はほぼ全身に及んでいる。更年期以降のエストロゲン欠乏による諸機能の低下や調節障害、さらには老化への対策としてエストロゲン補充療法(estrogen replacement therapy:ERT)が行われるが、その効果と問題点、将来への展望について述べたい。

2. NPO法人抗加齢協会監修

高電位治療器の臨床効果の検討-QOL・加齢に関連する諸症状・諸項目への作用-

米井嘉一¹⁾、水野嘉夫¹⁾、折茂 肇²⁾ 監修：水島 裕³⁾ 16

1) 日本鋼管病院内科・人間ドック脳ドック室 2) 健康科学大学
3) 東京慈恵会医科大学DDS研究所

本研究の目的は、保険診療上でも認可を受けている理学療法機器の一つ、高電位治療を取り上げて、QOL(Quality of Life)や加齢に関連する不定愁訴または検査値異常を有する者に対する、高電位療法の有効性および安全性を確認するためとした。特に、QOLに関する共通問診票を使用することにより、QOLに関するどの項目をどの程度改善するかを推察できること、すなわち有効症状のスペクトラムを得ることを期待した。

3. お知らせ 24

EDITORIAL BOARD MEMBERS:

編集委員長	藤田 哲也	健診、ドック医療	米井 嘉一
分子遺伝子学・基礎老化学	石井 直明	酸化ストレス	山本 順寛
老化皮膚	市橋 正光	栄養・サプリメント	渡辺 昌
更年期医学	太田 博明		
形成・美容医学	谷野隆三郎		
感覚器系	坪田 一男		

OFFICIAL JOURNAL OF JAPAN ANTI-AGING SOCIETY